

令和7（2025）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）⑥

実施報告

実施日：令和7（2025）年 11 月 26 日（水）

女性の地域活動推進セミナーの最終回である第6回の研修は、グループ研究発表とグループ協議「研修のふりかえり」、閉講式を行いました。

グループ研究⑤「グループ研究発表」

A グループ「働く女性のライフワークバランス ～子育て中の女性の時間の使い方～」

A グループは、4か所の認定こども園で子育て中の保護者にアンケート調査を行いました。その結果から、家事負担は女性に偏り、育児も依然として女性の負担が大きいことが分かりました。また、出産後の心身の疲労は、家事と育児、仕事の3役をこなそうとする女性にとって大きな負担となっていることも分かりました。そこで、健康維持と家事負担軽減の両立を目指した「簡単薬膳料理教室」という講座を提案しました。季節に合わせた薬膳料理を作る全5回の内容で、国際中医薬膳管理師の資格を持つ受講者を講師として設定しています。



B グループ「大切な人の“命と笑顔”をまもり 地域防災を創る」

B グループは、過去の災害事例を踏まえ、地域防災の課題を具体的なデータで示しながら、自助・共助の重要性を強調しました。そして、体験を通じた学びにより防災意識の向上を図る講座「大切な人の命と笑顔をまもる地域防災を創る」を提案しました。全5回のプログラムは、災害を知るための講演や、小学校での防災教育、避難経路の確認、防災イベントなどで構成されており、災害の現実を学ぶことで主体的な行動を促しながら、防災意識の向上を図ります。避難所体験や防災食の試食をすることで、自助力・共助力の高まりをねらいとしています。受講者は、フィールドワークを通して日光市の関係機関とプログラム実施の調整まで行ったそうです。



Cグループ「男女共生社会の実現に向けて 今できること」

Cグループは、ジェンダーギャップ指数・管理職比率など、具体的なデータをもとに男女共同参画の現状を分析し、課題を示しました。そこから、無意識の偏見に気付くための教育的アプローチを行い、女性管理職登用の加速、男性の家庭参画促進のために、中学生・高校生を対象とした講座「女の子だから、男の子だからをなくす」を提案しました。これは、男女共同参画を推進する心を育てることを目的とした全3回のプログラムで、男女共同参画に関する講話により、様々な課題があることを理解できるようにしたり、ワークショップや生理痛体験・妊婦体験などの実習を通して、男女共同参画の必要性に気付かせたりする内容です。



発表後、受講者は栃木県女性教育推進連絡協議会の各支部の方々と情報交換を行い、発表内容を実現するためのアドバイスを受けたり、今後の活動について話し合ったりしました。

閉講式

修了証授与では、所長から修了者一人一人に修了証が手渡されました。所長挨拶では、今回の研修で得られた学びや経験、そして共に学んだ仲間とのつながりを生かしながら地域づくりを進め、地域活動のリーダーとして活躍してほしいという期待が伝えられました。



<受講者の感想から>

- ・講演での学びをはじめ、各グループの課題も含めて男女の在り方や考え方を今一度自身がまず変えることだと、この研修から日頃考える意識をもつようになりました。また、私たちのグループの研究が実現可能となり、これからが第一歩だと緊張感をもちました。研修の機会を生かして、地域防災をさらにアップデートできる取組を重ねていきたいです。
- ・男性視点で男女共生社会への意識高揚ができ、物事の見方に変化がありました。
- ・素晴らしい研修に参加させていただき、ありがとうございました。防災についても日光市の現状を知る事ができ、自分にも何かできるのではないかと決意に変わりました。
- ・栃木市でも色々と地域での防災や男女共同参画などの企画があるそうなので、積極的に参加していけたら良いと思います。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp